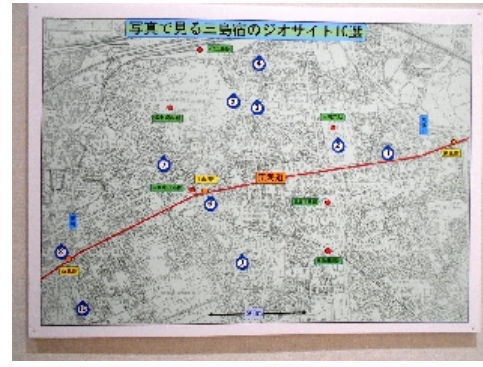


## 三島宿のジオと歴史…写真とマンガで見る！



三島市郷土資料館



地質的ジオ10カ所

三島市立公園「楽寿園」内にある、三島市郷土資料館に於いて企画展「三島宿のジオと歴史～写真とマンガで見る～」が令和2年7月11日(土)～7月26日(日)の間、開催されています。開催初日の7月11日、観賞と取材に行ってきました。

「伊豆半島ジオパーク」が世界ジオパークに認定されてから2年が経ちました。ジオパークと聞くと、多くの人は特異な地形や地質が織りなす大自然を連想します。しかし、ジオパークの構成資産は、「地域の「歴史・文化・産業」と「地形・地質」が同等に重要とされています。そのため、今回の企画展ではジオの視点で三島宿の生い立ちを紹介します。

三島宿内のジオポイントを地質と歴史に絞り、地質的ジオポイント10カ所を写真で展示、そして歴史的ジオポイントは、楽しいマンガで展示されています。



地質的ジオ1



地質的ジオ2

地質的ジオ1は「六所王子神社」(東海道分間延絵図に載る常夜灯と、関東・北伊豆地震の記録)、この神社は三嶋大社の祭神・事代主神(ことしろぬしのかみ)の王子6柱を祀ります。また三島に大被害を与えた地震の記録を残す石造物として貴重です。

地質的ジオ2は「三嶋大社」(御殿場泥流起源の大石群)、境内には大きな石が沢山あります。これは、約2,900年前に起きた富士山の東斜面大崩壊に伴う巨大土石流(御殿場泥流と呼ぶ)の大石が露出しているからです。



地質的ジオ3



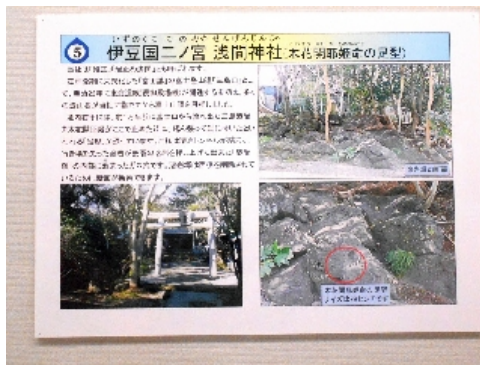
地質的ジオ4

地質的ジオ3は「白滝公園の小型溶岩塚」(三島市天然記念物)、約1万年前に富士山から流下した三島溶岩上部層はこの付近で止まったために、溶岩の盛り上がった高まり「溶岩塚」を多く造りました。



た。

地質的ジオ4は「鏡池の横臥溶岩樹型とスパイラル」(水蒸気脱出跡)、「鏡池」は湧水地のひとつです。三嶋大社に参拝する人々が身を清める場所でもありました。約1万年前、生えていた樹木が溶岩に飲み込まれ、押し倒され燃えつき、抜け殻(溶岩樹型)だけが残りました。



地質的ジオ5

地質的ジオ5は「伊豆国二ノ宮 浅間神社」(木花開耶姫命の足型)、ここは「姫宮」「岩止め浅間」とも呼ばれています。境内右手には富士山から流れ出た三島溶岩流を木花開耶姫(このはなさくやひめ)がここで止めた時に、踏ん張って岩に付いたとされる「足形」が残っています。

地質的ジオ6は「三石神社」(源兵衛川床の御殿場泥流起源の巨石群と堰跡)、ここは三島宿・西見附(にしみつけ)の火徐(ひよけ)地内に鎮座するお稲荷さんです。



地質的ジオ6



地質的ジオ7

地質的ジオ7は「伊豆国分僧寺 七重塔礎石」(御殿場泥流起源の巨石)、国分寺は奈良時代に聖武天皇の命により、国ごとに建てられた国立寺院です。

地質的ジオ8は「西見附石塁跡と千貫樋」(安政東海・関東・北伊豆地震の記録)、三島宿の西見附は伊豆と駿河の国境「境川」の崖縁にあり、南側の石塁が残っています。石塁上には、三島宿を火災から守る「秋葉神社」が祀られています。



地質的ジオ8



地質的ジオ9

地質的ジオ9は「源兵衛川と水の苑緑地」(湧水と御殿場泥流)、源兵衛川の中流域にある親水公園です。ここでは湧水が各所に認められ、河川も蛇行を始め、これより下流域は自然河川であったことがわかります。公園下流部では三島梅花藻が有志により管理され白い可憐な花を咲かせています。

地質的ジオ10は「境川と水の郷公園」(御殿場泥流の断面観察)、標高が低い為、年間を通じ湧水が認められます。湧水は海水面以下から湧き出すため、地下に堆積する白色のワカゴ平火山起源の



地質的ジオ10



軽石が湧水池の中に認められます。東側の崖では市内唯一、御殿場泥流層を観察できます。



一藤木秀光さん



歴史的ジョ1

一藤木(いっとうき)秀光さん(69)は、小学生のころ「ちばてつや」の「ちかいの魔球」に夢中になっていました。そして中学生になったころも夜な夜なマンガを描いていたそうですが、これではと思い、大学生までは勉強を、そして社会人になってからは仕事を、そして定年になったら「マンガを描いてやるぞ!」と、…ずっと思っていたそうです。そして、三島市ふるさとガイドを始めると共に「マンガで描くふるさと三島」が始まりました。

今回展示されている「歴史的ジョ マンガ」すべてが…一藤木 秀光さん(写真上左)が描かれた作品です。

歴史的ジョ1は「西見付」(日除け土手と飛脚)、これが一藤木さんの描ききっかけとなったマンガのようです。西見附の日除け土手と、先を急ぐ飛脚が「大変だ〜」真っすぐ行けないよ〜とあわてています。

※見付…もとは城門のことで、通行人を見張る所



歴史的ジョ2

歴史的ジョ2は「三嶋暦師の館」(三嶋大社近くで暦を作っていた館)、日本最古の仮名文字で印刷された暦で三島のお土産でした。

歴史的ジョ3は「千貫樋」(三島宿の観光名所)、千貫樋は伊豆国と駿河国の国境、境川に架かった樋です。



歴史的ジョ3



歴史的ジョ4

歴史的ジョ4は「三石神社」(三ツ石という巨石の上に建てられていた稻荷神社)、源兵衛川沿いの「時の鐘」の奥に三石神社が有ります。

歴史的ジョ5は「東見付」(石塁式の枡形見附)、江戸方面の東から入ると、長さ18間(約21m)、



歴史的ジョ5

幅3間(約3m)の新町橋を渡ると三島宿です。



歴史的ジオ6

歴史的ジオ6は「三島朝霧 広重」、1832年(天保3年)広重は幕府の命で京都に同行、東海道を上がり見聞したと言われています。

歴史的ジオ7は「南見付」(三島宿の南の入口)と筋違い橋、南見付は現在の「言いなり地蔵」の横に架かる石橋の所にあつたと言われています。



歴史的ジオ7

※見付…もとは城門のことで、通行人を見張る所

今回の企画展「三島宿のジオと歴史」では、静岡県地学会東部支部と三島市郷土資料館がタッグを組み、三島の成り立ちや歴史を写真とマンガで大変わかりやすく解説しています。

- ・三島市郷土資料館へのアクセスなど
- ・施設名: 三島市郷土資料館
- ・住所: 静岡県三島市一番町19-3(楽寿園内)
- ・JR三島駅南口より徒歩5分、車の場合: 有料Pあり
- ・入場料: 無料(ただし楽寿園入園料300円別途がかかります。15歳未満は無料、学生は学生証提示で無料)
- ・企画展「三島宿のジオと歴史」の開催期間: 令和2年7月11日(土)~7月26日(日)
- ・開館時間: 午前9時~午後5時

取材: 中伊豆地区担当 生きがい特派員 安藤 智章